

(様式例)

令和3年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立 入新井第四小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ 基礎問題の正答率は、4年が目標値より上回り、5年と6年は目標値を下回った。
- ・ 活用問題の正答率は、5年と6年が目標値を下回り、4年は目標値より上回った。
- ・ 興味や関心を高めるために、体験的な活動やICTの活用、学習規律の徹底を関連付けして授業に取り入れ、課題を解決していく学習を行ってきたことにより、関心を高めることができた。

(2) 課題

- ・ 3年の学習では、消防署見学などの体験活動に意欲的に取り組めたが、資料の読み取りや仕事への理解については、課題がある。
- ・ 4年の学習では地域の地図や資料から、考察し、表現することに課題がある。
- ・ 5年の学習では、産業についての学習や地図帳の読み取りに課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

達成率（経年比較） ※◎・・・目標値を5ポイント以上上回った。
○・・・目標値と同程度（±5ポイント以内）。
△・・・目標値を5ポイント以上下回った。

(1) 達成率（経年比較）

	令和3年度結果	令和2年度結果	平成元年度結果
第4学年	正答率 2.1ポイント		
第5学年	正答率－7.6ポイント	正答率－1.8ポイント (第4学年時)	
第6学年	正答率－6.0ポイント	正答率 3.3ポイント (第5学年時)	正答率 5.8ポイント (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4年生は、目標値を0.5ポイント上回った。	4年生は、目標値を6.8ポイント上回った。基礎的な学習を活かして、自分の言葉で表現したり考えたりする活動が効果的であったと思われる。	4年生は、目標値を3.8ポイント上回った。自ら学ぼうとする意欲を身につけるための工夫の成果が表れ始めたと考えられる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は、目標値を7.1ポイント下回った。 ・6年生は、目標値を1.0ポイント上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は、目標値を8.2ポイント下回った。 ・6年生は、目標値を2.0ポイント下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生は、目標値を9.4ポイント下回った。 ・6年生は、目標値を2.0ポイント下回った。基礎的学習の積み重ねがないことから学習についていけなくなり、意欲が下がってしまっていると考えられる。

3 授業改善のポイント（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>必要な資料を選定して提示し、読み取れることを児童に考えさせ、検討し合う機会を多く設ける。(指導計画・授業構成)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を自分の生活に置き換えて考えさせ、自分の考えをもち、表現する活動に取り組む。 ・ペア学習、グループ学習で自分の考えをもつ一人学びを設定する。ペア学習、グループ学習で自分の考えを深めたり、広げたりする機会を増やす。(指導計画・授業構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習や実物に触れるような体験的活動に多く取り組む。 ・生活と学習の結び付きを意識しながら、自らの問題として感じることができるようにする。(指導計画・授業構成)

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめとして、学習したことを復習する活動を取り入れる。また、地図帳を使った学習の時間を確保し、地図を読んだり資料から社会的事象を読み取ったりすることができるようにする。(指導計画・授業構成) ・社会的用語を身に付けるために用語を用いて説明する場を多く設ける。(指導計画・授業構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で社会科に関わる事象を話題に取り上げ、既習の知識の確認を随時行う。さらに習得した知識を活用しながら、キーワードを使って文章にまとめるなどの表現活動に取り組む。 ・調べたことに自分の考えを加える一人学びを設定する。ペア学習、グループ学習を取り入れ、自分の考えを深めたり、広げたりする機会を増やす。(指導計画・授業構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実体験を伴う学習やゲストティーチャーによる学習をできるだけ多く取り入れる。 ・単元の学習内容に応じて視聴覚教材を活用する。社会的事象を生活と関連させたり、「なぜ」という疑問を大切にしたい問題解決型学習を通して、学ぶ意欲を継続させたりした授業を行う。(指導計画・授業構成)